

Simple Syllabus to Support your Learning

第2学年	国語科	使用教材	新しい国語2	副教材	解いて覚える中学生の文法・単元別漢字ノート・書き方レンジャー
------	-----	------	--------	-----	--------------------------------

【学習の目的は？ 1年間でどんなことができるようになるの？】

- ・国語の基礎的な知識(漢字や語句、文法など)を身に付けることができる。
- ・説明文や物語を読んで、筆者の考えを読み取ったり、登場人物の人物像や心情を捉えたりする力を付けることができる。
- ・根拠を明確にして自分の考えを書いたり話したりする力を付けることができる。

【授業の進め方とポイントは？】

【家庭学習のポイントは？】

- ・物語や説明文を読んで、様々な課題に取り組みます。積極的に意見を交流しましょう。
- ・iPadを使って課題に取り組んだり、意見を書いたり交流したりすることもあります。

- ・読めない、書けない漢字の練習をする。
- ・意味の分からない語句を調べる
- ・文法や表現技法など、重要事項を確認する。
- ・授業の学習内容を復習する。

【定期テストへの勉強方法やポイントは？】

【基礎・基本の身につけ方は？】

- ・授業で使ったプリントなどを見て、授業内容を復習しましょう。授業での質問内容について、自分の意見をまとめるのも良いです。
- ・漢字、文法、古語などは、苦手なところを中心に確認しましょう。

- ・漢字や語句、文法などは繰り返し学習をして、知識を定着させましょう。
- ・文章を読み解く力や話したり聞いたりする力、文章を書いたりする力は、授業で行う課題に一生懸命取り組んで身につけましょう。

【どうやって通知表をつけるの？】

	評価の観点 (各ABCの3段階)	評価の対象とする主な学習や活動等
第1観点	知識・技能	・定期テスト ・言語活動(意見文・鑑賞文・物語創作・プレゼンテーションなど)
第2観点	思考・判断・表現	・定期テスト ・言語活動(意見文・鑑賞文・物語創作・プレゼンテーションなど)
第3観点	主体的に 学習に取り組む 態度	・振り返りカード ・漢字ノート、漢字プリントなどの提出状況 ・授業中の様子、授業の課題への取組状況

【1年間の授業の進め方 と つけたい力】

学期	単元	学習内容	つけたい力	学期	単元	学習内容	つけたい力
1学期	・巻頭詩「未来へ」 ・随筆「手紙の効用」 ・「短歌を楽しむ」 ・随筆「字のない葉書」 ・文学「辞書に描かれたもの」 ・説明文「ハトはなぜ首を振って歩くのか」 ・文法「動詞」 ・文学「卒業ホームラン」	・詩の内容を考える。 ・「言葉」について考える。 ・短歌の鑑賞、短歌作成 ・本文および筆者の心情読解 ・登場人物の心情読解、自分の考えの交流 ・文章の構成、図表、筆者の主張の読解 ・文法事項の学習 ・人物の心情変化の読解	・詩の内容を読み取る力 ・言語に対する感性、感覚 ・短歌を読み取り、作る力 ・人物の心情を捉える力 ・人物の行動や言葉から心情を捉える力 ・文章の構成や図表の効果を捉える力 ・文法事項に関する知識 ・心情の変化を捉える力	2学期	・文法「形容詞、形容動詞」 ・「説得力のある提案をしよう」 ・古文「平家物語」	・文法事項の学習 ・プレゼンテーション資料の作成、発表 ・古文の音読、読解	・文法事項に関する知識 ・プレゼンテーション能力 ・古文の音読力、読み解く
2学期	・説明文「黄金の扇風機・サハラ砂漠の茶会」 ・古文「枕草子、徒然草」	・文章を比較して共通点、相違点を読み取る。 ・古文の音読、読解	・文章を比較して共通点や相違点を捉える力 ・古文の音読力、読み解く力	3学期	・漢文「漢詩」 ・文法「活用のない自立語」 ・文学「走れメロス」 ・説明文「正しい言葉は信じられるか」	・漢詩の決まり、表現の学習 ・文法事項の学習 ・人物像や心情の読解 ・文章の構成、筆者の主張の読解	・漢詩の知識、詩の読解力 ・文法事項に関する知識 ・人物像や心情を捉える力 ・文章の構成や筆者の主張を捉える力

Simple Syllabus to Support your Learning

第2学年	社会科	使用教材	地理教科書、歴史教科書、地図帳、ノート	副教材	歴史資料集、地理・歴史問題集
------	-----	------	---------------------	-----	----------------

【学習の目的は？ 1年間でどんなことができるようになるの？】

【どうやって通知表をつけるの？】

地理的分野では、日本の諸地域について学ぶことを通して、人々の生活や産業に対する理解を深める。歴史的分野では、近世から近代までの歴史を概観し、歴史の発展について理解を深める。
--

【授業の進め方とポイントは？】

【家庭学習のポイントは？】

①各課題に集中して取り組み、考えを深めよう。 ②ノートのメモ欄を工夫して、まとめノートとして活用しよう。	①問題集を復習に活用し、正確に理解する。 ②教科書や資料集を精読する。 ③関心を持ったことを調べる。
---	--

【定期テストへの勉強方法やポイントは？】

【基礎・基本の身につけ方は？】

①教科書、地図帳、資料集、ノートの振り返り ②問題集の反復学習 ③授業に伝えるポイントを抑える。	①授業に集中し、正確に理解する。 ②重要語句を反復学習する。
--	-----------------------------------

	評価の観点 (各ABCの3段階)	評価の対象とする主な学習や活動等
第1観点	知識・技能	定期テスト・単元末テスト（各テストの観点ごとの評価）等
第2観点	思考・判断・表現	定期テスト・単元末テスト（各テストの観点ごとの評価） 単元ごとの課題等
第3観点	主体的に 学習に取り組む 態度	定期テスト・単元末テスト（各テストの観点ごとの評価） ※一定割合、問題集から定期テストの問題を出題します。 ポートフォリオ 授業中の姿勢 提出物等

【1年間の授業の進め方 と つけたい力】

学期	単元	学習内容	つけたい力	学期	単元	学習内容	つけたい力
1学期	地理的分野			2学期	歴史的分野		
	日本の姿	・日本の位置や都道府県、地域区分について学ぶ。	・日本地理の基本的なことがらが見える。			・安土・桃山時代から江戸時代まで、人々の暮らしがどのように変化していったのかを学ぶ。	・生産力の発展と時代の移り変わりの様子について理解する。
	世界と比べた日本の地域的特色	・世界と比較して、日本の地形や機構、人口、産業の特色について学ぶ。	・日本の地域的特色について理解する。	3学期	開国と近代日本の歩み	・日本の近代社会の特徴について、世界との関わりを通して学ぶ。	・日本の近代社会の特徴について。政治や産業、文化などさまざまな観点から考察する。
2学期	日本の諸地域	・日本の諸地域（7地方区分）の特徴について調べる。	・各地方の特徴について説明できる。				
	日本の諸地域	・日本の諸地域（7地方区分）の特徴について調べる。	・各地方の特徴について説明できる。				
2学期	身近な地域の調査	・身近な地域を調査してまとめる。	・様々な資料を活用して調査し身近な地域に興味を持つ。				

Simple Syllabus to Support your Learning

第2学年	数学科	使用教材	未来へひろがる数学（啓林館）	副教材	わかる数学 2年（学宝社）
------	-----	------	----------------	-----	---------------

【学習の目的は？ 1年間でどんなことができるようになるの？】

- 数量や図形などに関する基礎的な概念や原理について理解を深める。 - 数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察して表現する。 - 数学のよさを実感し、活用して考えたり判断したりする力を身に付ける。

【どうやって通知表をつけるの？】

	評価の観点 (各ABCの3段階)	評価の対象とする主な学習や活動等
第1観点	知識・技能	・授業の様子 ・小テスト ・定期テスト ・単元末テスト
第2観点	思考・判断・表現	・授業の様子 ・レポート ・定期テスト ・単元末テスト
第3観点	主体的に 学習に取り組む 態度	・授業の様子 ・振り返り ・提出物（ワーク、宿題等） ・レポート

【授業の進め方とポイントは？】

【家庭学習のポイントは？】

①前時までの復習と今日のねらいを明確に ②新しい用語や公式、証明の理解 ③例題を通して解法や考え方を学ぶ ④問や問題集で演習し、定着	①その日に学んだことを、教科書や問題集・ プリントで練習しよう。 ②以前に学習した内容も、反復して繰り返し 練習しておこう。
---	---

【定期テストへの勉強方法やポイントは？】

【基礎・基本の身につけ方は？】

①定理や性質、用語を覚える。 ②教科書やノートで解法を確認し、理解を深める。 ③問題集やプリントで繰り返し練習する。	①先生の話をよく聞き、分からないところ は先生に質問する。 ②教科書やノートで解法を確認し、問題集で よりレベルの高い問題に挑戦する。
--	--

【1年間の授業の進め方 と つけたい力】

学期	単元	学習内容	つけたい力	学期	単元	学習内容	つけたい力
1 学 期	1章 式の計算	・式の計算 ・文字式の利用	いくつかの文字を含む四則計算 ができる。また、数量関係を説明 することができる。	2 学 期	4章 図形の調べ方	・平行と合同 ・証明	平行線と角の性質を理解する。 証明することの意義としくみに ついて理解する。
	2章 連立方程式	・連立方程式 ・連立方程式の利用	連立方程式やその解法について 理解し、解くことができる。		5章 図形の性質と証明	・三角形 ・四角形	特別な三角形の性質や条件を証 明することができる。 平行四辺形の性質や等積変形な どについて理解する
	3章 一次関数	・一次関数とグラフ	関数 $y = ax + b$ について、 表、式、グラフを相互に関連付 けて理解する。	3 学 期	6章 場合の数と確率	・場合の数と確率	確率の意味を理解し、確率を求 めることができる。
2 学 期	3章 一次関数	・一次関数とグラフ ・一次関と方程式 ・一次関数の利用	具体的な事象を一次関数とみな し、それを問題解決に利用でき る。		7章 箱ひげ図とデータの 活用	・箱ひげ図	四分位範囲を求めたり箱ひげ図 に表したりできる。

Simple Syllabus to Support your Learning

第2学年	理科	使用教材	未来へひろがるサイエンス2（啓林館）	副教材	ステップ式理科ノート2年、積み上げ理科2
------	----	------	--------------------	-----	----------------------

【学習の目的は？ 1年間でどんなことができるようになるの？】

【どうやって通知表をつけるの？】

観察、実験を通して、身の周りや自然で起こる様々な現象について、興味をもち理解を深める。また、科学的な見方や考え方を身に付けるとともに、自ら進んで自然現象について考えようとする力を伸ばす。

【授業の進め方とポイントは？】

【家庭学習のポイントは？】

①前時までの復習と本時の課題 ②観察・実験を行い、現象を確認 ③観察・実験の結果をまとめ、考察 ④問題演習をして、内容を確認 など	① 教科書を読んで復習。Bノートにまとめる。 ②なぜ現象が起こったかを理解し、説明できるようにする。 ② ワークに取り組み、問題に慣れておく。
--	---

【定期テストへの勉強方法やポイントは？】

【基礎・基本の身につけ方は？】

①教科書とノートの内容を確認する。 ③ 演習を繰り返し行う。 ③観察・実験のレポートを理解する。	② ノート、教科書を見直す。 ②ワークで演習する。 ③重要語句は意味を説明できるように。
--	--

	評価の観点 (各 ABC の3段階)	評価の対象とする主な学習や活動等
第1観点	知識・技能	定期テスト 小テスト 実験・観察の様子 レポート 等
第2観点	思考・判断・表現	定期テスト 実験・観察の様子 レポート 提出物（ロイロノート） 等
第3観点	主体的に 学習に取り組む 態度	定期テスト 小テスト 授業での様子 提出物（Bノート） 等

【1年間の授業の進め方 と つけたい力】

学期	単元	学習内容	つけたい力	学期	単元	学習内容	つけたい力
1学期	[物質] 化学変化と原子・分子	・物質の成り立ち ・物質の表し方 ・さまざまな化学変化 ・化学変化と物質の質量	観察や実験を通して、物質の変化や量的な関係を理解し、身の回りの現象を原子や分子に関連させて考える。	2学期	[エネルギー] 電流とその利用	・電流の性質 ・電流の正体 ・電流と磁界	電気回路を組み立てて実験を行い、電流と電圧の関係や電流の働きを理解する。また、日常生活で利用されている電流や磁界について考える。
	[生命] 生物の体のつくりとはたらき	・生物の体をつくるもの ・植物の体のつくりとはたらき	生物の体は細胞からできていること、生物の細胞のつくりの特徴を見出し、理解する。 植物の体のつくりとはたらきに関する実験の結果を関連付けて理解する。	3学期	[地球] 地球の大気と天気の変化	・地球をとり巻く大気のように ・大気中の水の変化 ・天気の変化と大気の動き ・大気の動きと日本の四季	身近な気象現象を通して、気温や湿度と天気の変化の関係を理解し、学んだことから気象現象が起こる仕組みを考え、防災について考える。
2学期		・動物の体のつくりとはたらき ・動物の行動のしくみ	動物が生命を維持するためのはたらきについて観察・実験し、その仕組みを理解する。				

Simple Syllabus to Support your Learning

第2学年	音楽科	使用教材	中学生の音楽2,3上、中学生の器楽（教育芸術社）	副教材	音楽 表現と鑑賞の資料
------	-----	------	--------------------------	-----	-------------

【学習の目的は？ 1年間でどんなことができるようになるの？】

・表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、音楽のよさや美しさを感じ取り、1年生で培った表現力をさらに発展させる。
--

【授業の進め方とポイントは？】

【家庭学習のポイントは？】

①持ち物をそろえて持ってくる ②話を聞くととき、表現活動をするときのメリハリを付ける。	特になし
--	------

【定期テストへの勉強方法やポイントは？】

【基礎・基本の身につけ方は？】

①授業内容の復習 ②プリント類を読み返し、ポイントを整理・理解する。＊期末テストを実施	①いろいろな音楽を聞く。 ②反復練習をする。 ③間違いをおそれず音で表現する。
--	---

【どうやって通知表をつけるの？】

	評価の観点 (各ABCの3段階)	評価の対象とする主な学習や活動等
第1観点	知識・技能	歌唱・器楽の練習の様子、提出物の内容 実技テスト、定期テスト
第2観点	思考・判断・表現	プリント類の提出とその内容 定期テスト、実技テスト
第3観点	主体的に 学習に取り組む 態度	実技練習の様子、定期テスト、実技テスト 授業中の様子、プリント類の提出

【1年間の授業の進め方 と つけたい力】

学期	単元	学習内容	つけたい力	学期	単元	学習内容	つけたい力
1学期	・歌唱 ・器楽 ・鑑賞	「翼をください」 「夏の思い出」 「荒城の月」 合唱コンクールの準備 リコーダーアンサンブル 派生音の指使い 実技テスト 「交響曲第5番」 オーケストラの響き	・歌詞の内容や曲想に関心を持って表現する。 ・楽譜上の記号を使用し、声部の重なり方の特徴を活かしてアンサンブルができる。 ・楽曲の背景を理解し、曲想を味わい聞く。	2学期	・創作 ・楽典 ・鑑賞	作曲 タブレットによる創作 調号と臨時記号 歌舞伎「勧進帳」	・平易な創作ができる。 ・諸芸術と音楽の関わりを理解し曲想を味わい聴く。
				3学期	・歌唱 ・器楽 ・鑑賞	「サンタルチア」 リコーダーアンサンブル 発表会 オペラ「アイーダ」	・世界の歌曲に関心を持ち詩を理解して表現できる。 ・二声部以上の重なりを考えながら演奏できる。 ・諸芸術と音楽の関わりを理解し曲想を味わい聞く。

Simple Syllabus to Support your Learning

第2学年	美術科	使用教材	美術2・3（光村図書）	副教材	美術資料 京の美・レタリング字典
------	-----	------	-------------	-----	------------------

【学習の目的は？ 1年間でどんなことができるようになるの？】

【どうやって通知表をつけるの？】

造形的な視点について理解するとともに、表現方法を追求し、創造的に表す。想像力を一層高めると共に、西洋の美術作品や日本の文化についての見方や感じ方を深める。主体的に美術活動に取り組み、美術を愛好する心を育てる。
--

【授業の進め方とポイントとは？】

【家庭学習のポイントは？】

①学習のねらいや作品、技法について知る。 ②対話やワークシートなどで発想を深める。 ③学んだ知識や技法を生かして制作する。 ④鑑賞を通して学習の振り返りをする。	①制作の資料を集めよう。 ②見通しをもち、計画的に進めるための自己点検をしよう。
---	---

【定期テストへの勉強方法やポイントは？】

【基礎・基本の身につけ方は？】

①教科書、美術資料の確認。 ②授業プリントの復習や確認。 ③技法や制作手順、注意点などを確認。	①授業や教科書で学んだ技法や手順をよく理解し、実践する。 ②様々な機会を利用して美術に親しむ
---	---

	評価の観点 (各ABCの3段階)	評価の対象とする主な学習や活動等
第1観点	知識・技能	提出作品（材料・用具の生かし方と表現意図に応じた工夫など） 提出プリントの内容 テスト
第2観点	思考・判断・表現	アイデアスケッチ・作品のテーマ構想 提出プリントの内容 テスト
第3観点	主体的に 学習に取り組む 態度	提出プリントの内容 提出作品の完成度や充実度

【1年間の授業の進め方 と つけたい力】

学期	単元	学習内容	つけたい力	学期	単元	学習内容	つけたい力
1学期	表現（デザイン） Re デザイン ～CDジャケット～	伝える相手や内容を考え、表現の構想を練ろう。	伝達の効果と美しさなどとの調和を総合的に考えられる。	2学期	鑑賞（絵画） シュルレアリスム	シュルレアリスムについて学び、「無意識の世界」と「絵画」の繋がりについて考えよう。	発想のきっかけや、構想を練る力を育てる。
	鑑賞（デザイン） ファッション	ファッションを通して、色彩や形が持つイメージについて考えよう。	造形的な特徴などを基に、全体的なイメージでとらえることを理解する。	3学期	表現（絵画） スクラッチアート	「夢」や「無意識の世界」を構成し、明暗を使って立体的に表現しよう。	自分と向き合い、「核」となる部分を表現する。 明暗を意識し立体的に形をとらえる。
2学期	表現（立体） 帽子	機能や目的を考えデザインを考え、帽子を制作しよう。	使うことを前提とし、機能と美しさの調和について考えられる。				

Simple Syllabus to Support your Learning

第2学年	保健体育科	使用教材	新しい保健体育(東京書籍)	副教材	新しい体育実技(東京書籍)
------	-------	------	---------------	-----	---------------

【学習の目的は？ 1年間でどんなことができるようになるの？】

【どうやって通知表をつけるの？】

運動の楽しさを体験するとともに、生涯を通して運動に親しみ、実践し、継続していく能力や態度を身につける。また健康や安全に関する内容を科学的に理解する。
--

【授業の進め方とポイントは？】

【家庭学習のポイントは？】

①ランニング・トレーニング ②あいさつ・今日の授業内容の説明 ③課題を理解しての反復練習 ④実技テストや記録会	①基本的生活習慣を確立する。(実践力)
--	---------------------

【定期テストへの勉強方法やポイントは？】

【基礎・基本の身につけ方は？】

①教科書をよく読み、理解する。 ②ノートの問題を復習する。	①運動や健康について興味・関心をもつ。 ②日常生活では、自分の健康や体力作りの意識を高める。
----------------------------------	---

	評価の観点 (各ABCの3段階)	評価の対象とする主な学習や活動等
第1観点	知識・技能	・授業内での技能テスト ・定期テスト ・授業における活動状況(個人、グループワーク、試合等)
第2観点	思考・判断・表現	・単元(種目)ごとの学習カード ・定期テスト ・授業における活動状況(個人、グループワーク、試合等)
第3観点	主体的に 学習に取り組む 態度	・単元(種目)ごとの学習カード ・技能テスト(タイム・技術・連携等)の変化 ・授業における活動状況(個人、グループワーク、試合等)

【1年間の授業の進め方 と つけたい力】

学期	単元	学習内容	つけたい力	学期	単元	学習内容	つけたい力
1 学 期	球技	集団行動、新体力テスト	・号令により集団に合わせて行動できる。 ・パスやスパイク等の技術を習得しミニゲームができる。	2 学 期	球技	ソフトボール	・ルールを正しく理解し、グループで協力して試合ができる。
		バレーボール	・パスやスパイク等の技術を習得しミニゲームができる。			跳び箱	・自分のできる技を増やす。
	陸上競技	ハードル走、走り幅跳び、走り高跳び	・自分にあった目標を設定し挑戦する。		器械運動 武道 陸上競技	柔道	・基本動作や基本技を身に付ける。
						長距離走	・持久力を身に付ける。
2 学 期	水泳	クロール、平泳ぎ	・25mを適切なフォームでスムーズに泳ぐ。	3 学 期	保健	傷害の防止	
	保健	傷害の防止			表現運動	ダンス	・音楽に合わせて体を動かすことができる。
2 学 期	体育大会に向けての練習	ラジオ体操	・協調性をもって取り組む。	3 学 期	球技	ハンドボール	・パスやシュート等の基本技術を身につける。
		リレー	・バトンパスの有効な方法を理解する。			保健	健康な生活と疾病の予防②

Simple Syllabus to Support your Learning

第 2 学年	技術科	使用教材	副教材
--------	-----	------	-----

【学習の目的は？ 1 年間でどんなことができるようになるの？】

(1) 生活や社会で利用されているエネルギー変換及び情報の技術についての基本的なことを理解し、それらに係る技能を身につけることができる。
(2) 生活や社会の名中から技術に関わる問題を見出し、課題を解決する力をつける。
(3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて工夫し、創造しようとする実践的な力をつける。

【どうやって通知表をつけるの？】

	評価の観点 (各 ABC の 3 段階)	評価の対象とする主な学習や活動等
第 1 観点	知識・技能	・ 得た知識を活用し、具体的に制作に取り組める ・ 限られた時間内に、与えられた課題を正確に完成させる
第 2 観点	思考・判断・表現	・ 自分の意見、考えを発表することができる ・ 課題解決に向けて考えることができる
第 3 観点	主体的に 学習に取り組む 態度	・ 毎時間の授業の内容をファイルに記録し、提出できる ・ 技術に関する事柄に興味・関心を持って学習に取り組める

【授業の進め方とポイントは？】

【家庭学習のポイントは？】

(1)問題提起および課題説明	・ 与えられた提出課題は早めに、丁寧に完成させ、期限を守って提出する
(2)実際にやってみる。考えを発表する。	
(3)問題点を見つけ、解決に向けて行動する	
(4)活動を振り返り、評価をする。	

【定期テストへの勉強方法やポイントは？】

【基礎・基本の身につけ方は？】

・ 授業の内容をファイルを使って記録し、テスト前にはしっかり見直す。 ・ 提出課題をテスト前にもう一度やり返す	・ 毎時間の授業内容をその日のうちに振り替える。 ・ 疑問に思ったことは早く質問するか、自分で調べて解決しておく。
--	--

【1 年間の授業の進め方 と つけたい力】

学期	単元	学習内容	つけたい力	学期	単元	学習内容	つけたい力
1 学期	3. エネルギー変換の技術	・ 身近な電気製品のエネルギー変換 ・ 発電の仕組みと課題 ・ 電気を供給する仕組み ・ 電気回路	・ エネルギー変換して利用する電気製品の仕組みを知る ・ 発電所の課題について考えることができる ・ 電気回路について理解し、回路図が描ける	2 学期	3. エネルギー変換の技術	・ 電気機器の安全な使用 ・ 電気製品を制作を制作する ・ これからのエネルギー変換の技術	・ 機器の安全な使用について考え、実行する態度を身に着ける ・ 電気工作の基礎を習得する ・ 工具、器具を正しく使用し、安全にものづくりができる ・ 今後のエネルギーについて考えることができる
	2. 生物育成に関する技術 3. エネルギー変換の技術	・ 栽培の計画を立て地植えを体験する。 ・ 回路計による試験	・ 地植えを体験し環境条件を考える。 ・ 電気工作の基礎を習得する ・ 完成したテーブルタップを点検できる		4. 情報の技術	・ 情報モラル	・ 著作権や個人情報についての知識を身に着ける

Simple Syllabus to Support your Learning

第2学年	家庭科	使用教材	技術・家庭〔家庭分野〕（東京書籍）	副教材	家庭科ワークノートB 1. C（地域教材社）
------	-----	------	-------------------	-----	------------------------

【学習の目的は？ 1年間でどんなことができるようになるの？】

【どうやって通知表をつけるの？】

食生活・消費や環境に関する実践的・体験的な学習を通し、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識や技能を身につけ、課題を持って自分や家族の生活をよりよくしていく。

【授業の進め方とポイント？】

【家庭学習のポイント？】

①復習と本時のねらい ②教科書の内容を理解 ③ワーク・学習プリントで学習内容や実習内容の確認	①授業で学習した教科書の内容を復習しよう。 ②授業で活用しているワークと学習プリントの内容を復習し、実生活でも役立てよう。 ③ワークや学習プリントで学習内容のまとめや問題演習に取り組もう。
--	--

【定期テストへの勉強方法やポイント？】

【基礎・基本の身につけ方は？】

①教科書の内容理解 ②ワーク、学習プリントの内容理解 ③実習内容の復習とまとめ	①教科書をよく読み、内容を理解する。 ②ワークノート・学習プリントの内容を理解する。 ③小テストの確認
---	---

	評価の観点 (各ABCの3段階)	評価の対象とする主な学習や活動等
第1観点	知識・技能	定期テスト、提出物、実習作品など
第2観点	思考・判断・表現	定期テスト、実習状況（正確さ・丁寧さ・作業の手際・他との協力など）、作品、学習プリント、など
第3観点	主体的に 学習に取り組む 態度	授業中（含実習）の様子、ワークノートや学習プリントの活用状況、提出物の内容と提出状況、自己評価表、定期テストへの取り組み状況など

【1年間の授業の進め方 と つけたい力】

学期	単元	学習内容	つけたい力	学期	単元	学習内容	つけたい力
1学期	食生活	・健康と食生活	・食事の役割や栄養素の種類とはたらき、中学生の栄養の特徴について理解する。 ・献立の立て方を理解し、献立を立てる。	2学期	食生活	・調理をしよう ・地域の食材と食文化	・安全や衛生に留意し、基礎的な日常食の調理ができる。 ・地域の食材と食文化への理解を深め、日常の食生活に生かせるよう、工夫する。
		・食品の選択と保存	・食品の品質を見分け、用途に応じて選択する。 ・食品の保存や食品の安全について考える。	3学期	消費生活と環境	・家庭生活と消費 ・商品の選択と購入 ・よりよい消費生活 ・環境に配慮した生活	・消費生活のしくみを理解し、より有効な消費のあり方を考える。 ・様々な条件を考慮して商品の選択と購入が適切にできる。 ・消費生活に関するトラブルを回避する。 ・生活上の環境負荷を理解し、自ら対策に取り組もうとする。
2学期	食生活	・食品の選択と保存	・様々な保存食とその特徴を知り、日常の食生活に生かすことができる。				

Simple Syllabus to Support your Learning

第2学年	英語科	使用教材	Here We Go! English Course 2（光村図書）	副教材	New Enjoy2、Joyful Listening、3分リスニング 等
------	-----	------	------------------------------------	-----	---------------------------------------

【学習の目的は？ 1年間でどんなことができるようになるの？】

- ・他者の書いた長い英文を聞いたり読んだりして、自分の考えを適切な英文で話したり、書いたりできる。
- ・自分の町や日本の文化について、内容を整理して伝え合うことができる。
- ・英語を使って積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につける。

【授業の進め方とポイント？】

【家庭学習のポイント？】

①リスニング練習 ②新出単語・熟語の練習（個人・ペア） ③新しい文法の導入と口頭での運用練習 ④教科書の内容を理解 ⑤ワークやプリントなどを解く など	①習った単語や英文を何度も声に出して読む。 ②ワークなど、練習問題を解く。 ③習った単語や英文を使って、日記を書く。 ④リスニング課題に取り組む。
---	--

【定期テストへの勉強方法やポイント？】

【基礎・基本の身につけ方は？】

①既習の単語や基本文を総復習する。 ②教科書の本文を何度も音読する。 ③ワークやプリントなどを解く。 ④自分の考えを英語で表現する。	①毎日英語に触れる。（聞く、読む、書く） ②既習単語、熟語を覚える。 ③ワークなどの間違った問題やわかりにくい箇所を、質問してわかるようにする。
---	--

【どうやって通知表をつけるの？】

	評価の観点 (各ABCの3段階)	評価の対象とする主な学習や活動等
第1観点	知識・技能	定期テスト・単元末テスト・パフォーマンステスト等
第2観点	思考・判断・表現	定期テスト・単元末テスト・パフォーマンステスト等
第3観点	主体的に 学習に取り組む 態度	パフォーマンステスト・提出課題・ポートフォリオ等

【1年間の授業の進め方 と つけたい力】

学期	単元	学習内容	つけたい力	学期	単元	学習内容	つけたい力
1 学 期	Unit1: Hajin's Diary	・日記を読む、日記を書く	・出来事や感想などを日記に書くことができる	2 学 期	Unit5: Earthquake Drill	・説明を聞き取る/話し合いをする	・説明から、どんなものか聞き取る
	Unit2: Basketball Tournament Daily life1	・インタビューを聞く/したことなどをたずね合う ・何かを頼むやり取りをする	・好きなことなどを訪ね合うことができる ・電話で何かを頼んだり、応じたりできる		Daily life5/ Daily life6	・必要な情報を読み取る/体調をたずねるやり取りをする	
	Unit3: Plans for the Summer Daily Life2/Let's Read1 World Tour1 You Can Do It!1 Daily life3	・メールを読む、メールを書く ・必要な情報を聞き取る/物語のあらすじをつかむ ・いろいろな単位 ・わが町観光プランをオススメしよう ・注文や依頼のやり取りをする	・メールの内容を読み取ることができる ・必要な情報を聞き取ることができる/出来事の経過を読み取ることができる ・城陽市の観光プランを考えて、紹介することができる ・飲食店で注文したりできる		Unit6: Work Experience Let's Read2 / World Tour2 You Can Do It2	・レポートを読む、レポートを書く ・インタビュー記事の概要をつかむ/世界で働く人 ・職業診断チャートを作ろう	・職場体験学習についてのレポートを書いて発表することができる ・記事から、人物の経歴を読み取ることができる
	Unit4: Tour in New York City Daily life4	・ガイドブックを読む ・行き方をたずねるやり取りをする	・ガイドブックから施設などの情報を読み取ることができる ・行き方を訪ねたり、伝えたりできる	3 学 期	Unit7: Amazing Australia Daily life7	・観光案内を読む/観光案内文を書く ・音声案内を聞く、観光情報を読む	・観光大使になって日本のおすすめの場所を紹介できる ・情報から、情報を聞き取ることができる
2 学 期					Unit8: Starting a Musical Daily life8 / Let's read3 World tour3 You can do it!3	・学級新聞を読む/好きな作品を紹介する ・作品の説明を聞き取る/説明文の概要をつかむ ・日本の面白い文化を紹介しよう	・好きな作品を紹介することができる ・絵画の情報を聞き取ることができる